

「インフルエンザに伴う随伴症状の発現状況に関する調査研究」について、説明いたします。

- 1) この調査は、小児科医と内科医に参加協力をお願いして、厚生労働省の研究班が実施しています
- 2) インフルエンザにかかった 18 歳未満の方に調査協力をお願いしています
- 3) 性別、年齢、既往歴、発熱などの特性や、インフルエンザ発症後の症状の経過と治療薬剤の使用状況を調べて、治療薬剤使用と臨床症状発現との関連を検討することが、この調査の目的です
- 4) インフルエンザの経過について患者家族用調査票に記入いただき、担当医の先生に来院や郵送などでお届けいただきますようお願いいたします
- 5) 患者家族用調査票の回答に基づいて、担当医の先生がインフルエンザ発症後の経過についての専門的評価を行ないます。この際、調査票の回答で不明な点や詳細にお聞きしたい点がある場合に、担当医の先生などが連絡する可能性があります。
- 6) 回答いただいた患者家族用調査票や担当医の先生の専門的評価のデータは、個人を特定できる情報を除いて、厚生労働省の研究班に送付されて保管されます
- 7) 厚生労働省の研究班では匿名化された情報のみを扱い、統計解析を行ないます
- 8) プライバシーは必ず守ります

皆様のご協力を、よろしくお願い申し上げます。

患者家族用調査票の記入のお願い

調査票の記入を、よろしくお願い申し上げます。

【記入方法について】

- 「インフルエンザ調査票」(P1 ページ) に、お子さんの生年月日、男女別などを記入してください。
- 「経過観察調査票(患者家族用)」(P2 ページから P5 ページまで) に、記入例(黄色い用紙)を参考にして、インフルエンザによる発熱後の出来事(「薬の使用」、「体温(発熱)」、「症状」)をご記入ください。発熱した日を「発熱 1 日目」として、「発熱 4 日目」までのそれぞれの日について、記入してください。
 - ☆ 「薬の使用」につきましては、該当する時刻まで矢印を引いて、薬剤名と時刻を記入してください。
 - ☆ 「体温」につきましては、該当する時刻まで矢印を引いて、測った体温と時刻を記入してください。
 - ☆ 「症状」につきましては、該当する時刻まで矢印を引いて、その状態と発現した時刻を記入してください。長く続いた症状については、続いた時間がわかるように記入してください。
 - けいれん、意識障害、異常言動・異常行動、激しく持続する咳などの重い症状がみられた場合に、ご記入ください。
 - 多少の咳、嘔吐、頭痛、喉の痛みなどの普通に見られる症状については、記入いただかなくて結構です。
- 「異常行動・異常言動調査票」(P6 ページ) に、インフルエンザの経過の中での異常言動・異常行動につきまして、記入例(ピンクの用紙)を参考にして、ご記入ください。異常行動・異常言動がみられなかった場合には、「無」の口に✓を記入してください。

* 二次病院(救急病院など)に入院した場合には、担当医の先生に連絡してください。

* 不明の点がありましたら、担当医の先生にお尋ねください。

